

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-15		衛生・害虫駆除事業				
主管課	環境保全課	関連課					
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努める。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
運営資源 状況	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数				8624080		
	決算値(千円)	3,847千円	4,284千円	6,594千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	3,847千円	4,284千円	6,594千円			
	人員配置数	3.0人	3.0人	3.0人			
事務事業 運営経費	人件費(千円)	25,872千円	26,624千円	21,215千円			
	協働の パートナー						
	総事業費(千円)	29,719千円	30,908千円	27,809千円			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	市民1人当 りの経費(円)	168円	175円	158円			
	対象者1人 当りの経費(円)						
	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(25年度)
スズメバチの相談で現場確認 を行い駆除した割合	◎	目標値	70%	80%	80%	80%	90%
		実績値	82%	82%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。	
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。		④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。	
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
衛生・害虫駆除事業	3,847千円	①効率性 △	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行う。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
事業の概要						
	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
事業の概要						
	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	
事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	ハチの営巣活動は、天候や気温に左右され駆除の相談が一時期に集中する傾向がある。					
課題解決のための取組	電話等による相談時に、ハチの種類や駆除のタイミングなどを聴取し効率的な駆除体制を整えた。					
未解決の課題	駆除が時期的に集中するため順番待ちになってしまうことがある。					
今後の方針	広報等で、市が駆除するハチと駆除しないハチを周知を行い、効率的な業務の運営を図る。また、現在は市職員が駆除を実施しているスズメバチの駆除について、職員減員時の対応として、将来的に委託や補助金等の制度も含め検討していく。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	環境保全課長 黒岩弘之

